

第 1 0 期
報 告 書

2018年4月 1日から
2019年3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

2018年度事業報告書

当会が一般財団法人として発足し10年が経過し、協会外部への動きをより意識した年となった。

主な主催事業としては、夏全国大会の初会場での開催、海外の異なるルールの団体主催の国際大会への選手派遣が挙げられる。

財政面の影響としては、2016年度以降継続した指導者関連の資格取得者の大幅な伸びによる会員収入増加が目立った。全国大会においては、開催地コンベンションからの支援内容と開催地の意志を重視して計画を進め、製作物の内容・販売方法をさらに見直した。また、他各事業に於いても収支のバランスの取れた実施を目指したことにより安定している。

登録面においては、小学生競技チーム(D1・D1G)登録は減少幅は小さくなっているものの減少、またシニア競技者についてはほぼ横ばいであるものの、審判員登録は4000名に迫る勢いで増加している。選手を預けることによる個人任せではなく、親子・家族での関わりが強くなり、チームとしての目標の設定の兆しが見える。

協会外、海外関連事業における動きが大きくなると共に、特に語学力を始め必要な情報や人材が内部のみでは不足している状況も生じており、今後もバランスをみながら他の組織との連携をさらに模索していくこととした。

1. 全国競技会

① (小学生) 全日本ドッジボール選手権(夏)・春の全国小学生ドッジボール選手権(春)

2018年度も、地元コンベンション・コミッションとの連携を意識して準備を進めた。初会場となる夏の前橋市においてはコミッションの助成金を受けての開催、また、春においては、昨年引き続き津市での開催となった。

参加チーム構成としては、夏春を通じて青森県から代表チーム選出が無く、全都道府県からの選出には至らなかった。大会全体の収支には大きな影響は無く安定し、応援数はむしろ増加傾向であるものの、実質的に協会活動の土台となる大会の為、チームが極端に少ない地域の再生に向けての取り組みは引き続き課題となった。

		 スポーツ振興基金助成事業 <small>独立行政法人日本スポーツ振興センター</small>
日時	2018年8月12日(日) 9:00~17:00	2019年3月24日(日) 9:00~17:00
会場	ALSOKぐんまアリーナ	津市産業スポーツセンター サオリーナ 三重県津市
共催		津市
助成団体	前橋スポーツコミッション (公財)ミズノスポーツ振興財団	スポーツ振興基金 (公財)ミズノスポーツ振興財団
参加チーム 人数	46都道府県より48チーム 選手 小学生男女3~6年 850名 指導者 144名	46都道府県予選代表48チーム 選手 小学生男子・女子3~6年 840名 指導者 144名



②2018J.D.B.A.全日本選手権



中学生以上の競技者を対象に、2014年よりブロック予選を伴った形で開催している。東北ブロック～九州ブロックまでの8ブロック代表32チームが集まり、小学生のプレイスタイルから進化した熱戦が展開された。北海道ブロックからの選出や主要な協賛企業が無い状況は続いているが、小学校卒業生の増加に応じて、競技者層の柱となるよう、引き続き計画を進める。運営人数は審判員も合わせて60人程度と、小学生全国大会に比べて小規模ではあるが、地元静岡県協会を始めとした東海ブロックの体制は、事前の打ち合わせを省略できる程となっている。

大会名	期日	会場名	参加チーム数
2018J.D.B.A. 全日本選手権	2018/10/14	このはなアリーナ 静岡県静岡市	北海道を除く8ブロック代表32チーム (予選参加94チーム)

③第5回全日本女子総合選手権



2014年度より、小学生～社会人までの女子選手の総合大会として実施している。
九州ブロックの協力を受け、また経費面でも北九州観光コンベンションの支援も受けたことで、遠方のリスクを補うことが可能となり、初会場となる福岡県北九州市立総合体育館での開催となった。
事業としては2017年度まで実施していた小学生選手への教室との同時実施を変更し、他の全国大会と同様に競技会に特化した形で、総チーム数もD1G32チーム、シニア女子16チームの計48チームに拡げて開催した。女子選手の増加に影響を与えるかどうかを探り、来年も同規模で行う予定となっている。

大会名	期日	会場名	参加チーム数
第5回全日本女子総合選手権	2018年12月16日	北九州市立総合体育館 福岡県北九州市	女子小学生(D1G)都道府県代表32チーム 女子中学生以上(シニア)5ブロック代表16チーム

2. 競技委員会

主催大会では競技運営を円滑に行うと共に、ルールの徹底、審判員の資質向上のため諸施策を実行した。常任委員会では審判員育成課題等、競技全般に関し情報交換、研究、検討を行い、全国大会時における審判クリニックでは各地域から派遣される審判員を通じ全国への周知を図った。

B級公認審判員認定講習会

開催ブロック	開催日	開催場所	受験者	合格者
北海道	2018/10/20	北海道立野幌総合運動公園(江別市)	3	0
東北	2018/9/15	岩沼市立岩沼西小学校(宮城県)	7	1
関東	2018/10/21	さいたま市徳力小学校/西徳力自治会館(埼玉県)	14	5
北信越	2018/11/11	長野市立古牧小学校(長野県)	11	8
東海	2018/10/21	矢田ふれあいセンター/西尾市立西尾学校(愛知県)	10	5
関西	2018/10/21	大阪市立柴島中学校(大阪府)	4	2
中国	2018/9/9	廿日市市立平良小学校(広島県)	6	3
四国	2018/11/25	愛媛県松山市青少年センター体育室・大会議室(愛媛県)	18	8
九州	2018/6/3	北九州市立総合体育館(福岡県)	6	3
計			79名	35名

半数近くを占める再チャレンジの受験者に関して、前回受験後の是正(フィードバック)及び対策他が効果的に実施されていない傾向が伺えた。次年度からは、中央研修会で実践した指導内容等を基に受験準備段階における事前研修の方法や指導内容面に関する見直し(精査)を図り、また、指導ポイント要領の伝達を実施すると共に受験者本人の努力(向上心)を踏まえた上での推薦(見極め)を行なう様、確認を行った。



C級審判員は昨年も増加し、審判員資格者総数は3900名を超えた。指導者講習会参加を機に新規取得・再取得する例も多いものの、ゲームをコントロールする立場にやりがいを感じる例も少なからず出ていと期待し、技量の底上げに繋がるよう取り組む。

尚、2019年度からは協会としてWDA種目にも正式に参加することから、他種目との分析・比較を通すことによる活性化の可能性も視野に検討を進める。

3. 普及委員会

ビーチドッジボール

JAPAN BEACH GAMES Festival 2018	2018年5月4日・5日	お台場海浜公園 お台場ビーチ
------------------------------------	--------------	----------------

5月の日本ビーチスポーツ振興協会の主催事業へのビーチドッジボールでの参画は4年目を迎えた。

今回も入口の体験としての参加機会としては特徴を存分に活かすことができたが、会場のお台場は2019年度よりオリンピックに向けた改修のため閉鎖期間に入る。

現時点においては、協会単独スポーツとしての推し進めるにはややハードルが多く、主催団体の代替地計画の進捗状況を待ちながら、改めて位置づけを検討することとした。



4. 指導委員会

指導者養成講習会

準指導員（区分II）の最終段階として集合学習④を2ブロックにて開催した。

集合学習①～④+考査（実習10時間+レポート提出による審査）に合格し、日本スポーツ協会の共通科目以上の単元を修了した者は、本協会独自資格ではなく、日本スポーツ協会公認のドッジボール指導員として認められることとなる。

公認指導者講習会 集合学習④ (対象 公認準指導者資格区分 I 取得者のみ)	2018年10月20日(土)・21日(日) 広島県スポーツ会館 広島県西区	合格者 15名
	2018年11月17日(土)・18日(日) 生石公民館 愛媛県松山市	合格者 21名

区分2に関しては2会場のみのため取得者は限定されるが、指導員資格取得者全体に関しては2800名以上となった。

指導に関する情報を求める要望自体は決して低く無いと考えられ、2019年度からは最終的な目標である日本スポーツ協会公認指導者の増加に向け、ステップアップへのスケジュールをより整備していく。

新テキストの作成

これまでの講習会実施の経験から、集合学習の副教材の製作を進めた。ゲーム自体だけでなく、ストレッチ等のケアに関する情報や、書籍とweb映像とのリンクによる分かりやすさを意図して製作し、2019年度当初に完成を予定している。同時に、同年度からの集合学習④にて使用を計画している。

5. 他、ブロックからの委員選出を伴わない委員会事業

協会広報紙の製作(総務・広報)

加盟協会協会内外に向けた広報紙を製作し、協会員・地方公共団体等へ発送した。
合格者の中で最年少のB級審判員・マルチボール世界大会派遣とシングルボールアジアカップ派遣・主催全国大会等の記事を掲載した。



日本代表活動事業(強化委員会)

①2018ワールドカップ(招待国枠)選手団派遣

シングルボール普及とマルチボール普及を組み合わせることによる世界全体でのドッジボールの発展の可能性を探るため、2017年以降、海外他団体(WDA)への参入を進めている。

アメリカで開かれた世界大会は、WDAの発展戦略との関連もあり、各大陸予選の4位チームを中心としたインビテーションカテゴリーが設けられた。2017年のアジア予選4位となっていた日本は男子部門だけでなく、女子選手の経験を積むために男女混合部門にも並行してエントリーした。

遠方のため最少人数構成とせざるを得ない中、特に男子選手は1試合30分の試合を、交代しながらも複数部門に渡り16時から25時近くまで連続で出場し、且つ翌日の決勝戦、その合間にシングルボールでのデモンストレーションを行うという驚異のスケジュールとなったが、混合部門において見事に優勝を収めた。

一方、アメリカに限ってではあるが、運営面に注目した際の状況は未整備な点も多く、むしろマレーシアでのアジア予選の方が優れていると感じられた。但し、4位枠カテゴリーを実施した点と合わせると、WDAとしては敢えてアメリカで開催に踏み切ったとも考えられる。

活動の中心であるヨーロッパにこだわらず、他の大陸での大会開催を積極的に進める姿勢は、日本国内における当協会の全国大会開催地の推移とも意図が重なる可能性が高い。引き続き、2019年度のアジア予選・審判講習会に関する取り組みを通じて、共通点・参考にする点・逆にこちらがリーダーシップを取れると思われる点を探ってゆくこととした。

事業名	期日	開催地	参加者数
2018WDA 世界大会	2018年 8月3～4日	3日 バスケットボールシティ 4日決勝 マジソンスクエアガーデンシアター /アメリカ・ニューヨーク	選手8名 役員1名

※写真は、現地の観戦者からの提供が含まれます。



②2018アジアカップ韓国大会 選手団派遣 及び事前合宿



第4回を迎えたシングルボールでのアジア大会に選手団を派遣した。夏に入ってから開催日程が変わるなどの不測の事態もあった関係で、U-12男子は派遣できなかった点は残念だったものの、参加した全てのカテゴリーにおいて優勝を収めた。

2018アジアカップ選考合宿	2018年6月23～24日	山梨県 鳴沢村民体育館 合宿所 森の家 久野屋
2018アジアカップ直前合宿	2018年9月9～10日	山梨県 鳴沢村民体育館 合宿所 森の家 久野屋
2018アジアカップ韓国大会	2018年10月20～21日 派遣期間は19日～22日	長興インドアスタジアム チョンナムジンインドアスタジアム (韓国・長興郡)

本事業は、今開催にて4つの加盟国・地域協会を一巡した。成績においては、0-13カテゴリーは全て、U-12カテゴリーも全ての大会で優勝または準優勝という申し分のない結果を得たが、残念な点としては、この7年の間に加盟数は全く増やすことができなかった点が挙げられる。2019年度以降は①のWDA方面からの発展の道を模索しながら、海外事業を計画していく事とした。



③所属県協会での普及活動

代表経験を持った選手には、地元での普及活動に積極的に協力するよう求めている。

その中で特に県協会と地元の候補選手が中心となって主催した例としては、滋賀県協会が湖南市で開催したドッジボール教室が挙げられる。

地元からの反応は好評で2019年度の開催も決まっている。遠征経験を基に、その後の地元協会の普及方針、スポーツ活動に積極的な自治体、理解のある企業の間を繋げる例となれば、遠征活動の価値もまた高めることが可能となるため、一つの成功例に結びつくよう、今後も情報を共有する。



6. 会議の開催状況

① 評議員会

会議名	開催日	主な審議事項
定時評議員会	2018/6/28	2017年度事業報告・収支決算の承認
臨時評議員会	2019/2/28	2019年度事業計画・収支予算の承認

② 理事会

会議名	開催日	主な審議事項
第1回	2018/4/28	(2018年度ミズノスポーツ振興財団助成金贈呈式) シニア・女子全国競技会の位置づけ確認 各事業の中期展望の確認
第2回	2018/6/9	2017年度事業報告・収支報告の承認 第28回夏小全国大会・2018J.D.B.A.全日本選手権進捗確認
第3回	2018/9/8	第29回春小学生全国大会開催地承認
第4回	2018/11/24	ボール改良スケジュール確認、女子選手権準備状況確認
第5回	2019/1/26	2018年度見通し、2019年度専門委員会事業計画
第6回	2019/2/24	第28回春小全国大会準備状況確認 2019年度全体事業計画承認

7. 他団体への派遣事業

当協会主催事業以外に、加盟団体、他団体との合同での事業、または代表選手派遣活動を進めた。

❖ ビズドッジ

2018年11月28日(水)	首都圏ポスティング組合事業「いい届」杯ドッジボール大会
----------------	-----------------------------

組合内のレクリエーション・企業の福利厚生の一環として、全く異なるルールで運用している。全員がプレイに参加する事を意識し、一度外野に出るとほとんど動きのないままゲームが終わるという状況にならないよう、内野外野の交代は前後半の切替時のみに制限し、全員が体を動かすことに比重をおいたポイント制のルールで実施している。



❖ 2018スポーツ祭り (<http://www.joc.or.jp/event/sportsfestival/>)

(主催 文部科学省、(独)日本スポーツ振興センター、(公財)日本スポーツ協会他)

今回もオリンピック・アスリートの一員として3名を全体行事に派遣した。

午後からのドッジボール教室は、当選は100名弱であるが応募は毎年倍以上あり、実施時間の延長が恒例の教室となっている。

2018年10月8日 (月・祝/体育の日)	味の素フィールド西が丘 (東京都北区)

❖ スミセイアフタースクールプロジェクト (<http://sumiseiafterschool.jp/about/>)

(主催 住友生命相互保険相互会社・NPO法人放課後アフタースクール)

本プロジェクトは5年目を迎え、常設の「健康」プログラムとして、今年度も選手を派遣している。今年度は2回の海外大会派遣のためスケジュールが厳しく、例年より若干少ない4会場での実施となった。

各教室は、1会場あたり40~110名の参加があり、同プロジェクトの中で最も希望の多いプログラムの一つとなっている。選手のスケジュール管理・開催地の選定に関する方針・開催場所の学童クラブと学校間の情報連携の未整備等から調整が難しいものの、技術面以外の選手の資質向上も見込めるため、2019年度も引き続き実施する。

2018年11月6日(火)	枚方市立磯島小学校(大阪府枚方市)	67名
2018年11月12日(月)	米子市立崎津小学校(鳥取県米子市)	43名
2018年12月27日(木)	みどりの学園義務教育学校(茨城県つくば市)	1部50名+2部65名
2019年3月22日(金)	浅井コミュニティーセンター(富山県射水市)	43名



※写真はスミセイアフタープロジェクト活動ブログより転載。

❖ JICA青年海外協力隊への協力

2017年度末のキルギスに加え、2018年度にはエチオピアで活動していたJICAの隊員より、現地での集団活動の教育にドッジボールを取り入れたいとの依頼があり、ボール・ピブス提供、ルールの紹介、webを通じての基本動作の紹介等の形で協力した。



画像はJICA隊員からの提供

エチオピア政府のコントロールによる通信遮断や、能力に関係なく集団でスポーツを練習するという教育的な考えがもともと根付いていない環境の中では、現地の協力隊員同士で原形のイメージを共有できるドッジボールは、特性を活かせる数少ないスポーツとして評価を得ている。

第 1 0 期
計 算 書 類

2018年4月 1日から
2019年3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

貸借対照表

2019年 3月31日現在

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	26,378,264	22,263,417	4,114,847
商品	2,503,347	3,610,052	△ 1,106,705
立替金	32,700	0	32,700
未収入金	7,260,098	5,225,390	2,034,708
流動資産合計	36,174,409	31,098,859	5,075,550
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
工具器具備品	1	1	0
ソフトウェア	442,500	12,250	430,250
保証金	414,000	414,000	0
その他固定資産合計	856,501	426,251	430,250
固定資産合計	856,501	426,251	430,250
資産合計	37,030,910	31,525,110	5,505,800
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,351,605	2,740,356	611,249
前受金	943,334	646,160	297,174
預り金	88,710	88,296	414
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税	361,500	523,900	△ 162,400
流動負債合計	4,815,149	4,068,712	746,437
負債合計	4,815,149	4,068,712	746,437
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	32,215,761	27,456,398	4,759,363
正味財産合計	32,215,761	27,456,398	4,759,363
負債及び正味財産合計	37,030,910	31,525,110	5,505,800

損益計算書（正味財産増減計算書）

2018年 4月 1日から2019年 3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
事業収益	18,724,078	11,195,148	7,528,930
登録料収益			
チーム登録料収益	4,296,000	4,419,000	△ 123,000
受取会費			
協会員受取会費	30,867,000	28,025,000	2,842,000
役員等受取会費	730,000	660,000	70,000
加盟協会料収益			
加盟協会料収益	2,400,000	2,400,000	0
スポンサー料収益			
スポンサー料収益	6,970,666	8,475,334	△ 1,504,668
販売収益			
販売収益	9,759,062	15,929,370	△ 6,170,308
検定料収益			
公認球検定料収益	1,607,040	1,166,400	440,640
手数料収益			
手数料収益	1,112,996	1,586,231	△ 473,235
受取補助金等			
受取助成金	8,708,000	4,203,000	4,505,000
雑収益			
雑収益	319,765	813,585	△ 493,820
経常収益計	85,494,607	78,873,068	6,621,539
(2) 経常費用			
事業費			
謝金	735,618	647,137	88,481
旅費交通費	14,652,988	9,476,626	5,176,362
宿泊費	5,001,544	3,582,439	1,419,105
事業支援費	18,267,800	18,185,500	82,300
貸借リース料	1,931,918	1,339,680	592,238
制作費	5,962,735	6,623,633	△ 660,898
用具費	2,831,065	871,111	1,959,954
通信運搬費	2,497,661	1,911,293	586,368
印刷製本費	2,305,374	3,798,286	△ 1,492,912
事業消耗品費	3,487,375	3,184,681	302,694
事業雑費	3,115,323	995,697	2,119,626
管理費			
給与手当	7,854,422	7,737,608	116,814
通勤費	498,464	452,884	45,580
法定福利費	1,294,440	1,128,404	166,036
福利厚生費	75,660	72,960	2,700
貸借料	3,312,816	3,282,997	29,819
リース料	243,000	209,952	33,048
旅費交通費	798,744	1,208,260	△ 409,516
通信費	487,895	406,306	81,589
運賃	906,269	827,727	78,542
発送業務委託費	46,440	69,392	△ 22,952
消耗品費	325,023	422,096	△ 97,073
顧問料	1,000,000	1,000,000	0
業務委託費	334,260	642,600	△ 308,340
会議費	24,420	16,500	7,920
接待交際費	247,487	334,441	△ 86,954
水道光熱費	315,949	339,456	△ 23,507
諸会費	813,820	466,000	347,820
租税公課	828,950	996,700	△ 167,750
支払助成金	100,000	0	100,000
減価償却費	19,750	73,500	△ 53,750
雑費	348,034	324,051	23,983
経常費用計	80,665,244	70,627,917	10,037,327
当期経常増減額	4,829,363	8,245,151	△ 3,415,788
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	4,829,363	8,245,151	△ 3,415,788
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	4,759,363	8,175,151	△ 3,415,788
一般正味財産期首残高	27,456,398	19,281,247	8,175,151
一般正味財産期末残高	32,215,761	27,456,398	4,759,363
II 正味財産期末残高	32,215,761	27,456,398	4,759,363

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品……最終仕入原価法による原価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産……建物は定額法、建物以外は定率法
無形固定資産……定額法
- (3) リース取引の処理方法
所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっている。
- (4) 消費税等の会計処理
税込方式で計上している。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(直接法により減価償却を行っている場合) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
工具器具備品	10,011,600	10,011,599	1
ソフトウェア	450,000	7,500	442,500
合 計	10,461,600	10,019,099	442,501

3. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	BS上の 記載区分
補助金・助成金						
2018年度普及助成金	日レク	0	100,000	100,000	0	—
2018年度ジュニア育成助成金	ミスノ財団	0	500,000	500,000	0	—
2018年度スポーツ大会助成金	M S C	0	1,000,000	1,000,000	0	—
スポーツ振興基金助成金	スポ振興	0	5,108,000	5,108,000	0	—
スポーツ振興普及奨励事業助成金	スポ安	0	500,000	500,000	0	—
北九州MICE開催助成金	K C V A	0	1,500,000	1,500,000	0	—
合 計		0	8,708,000	8,708,000	0	

財産目録

2019年 3月31日現在

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目		金 額	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金手許有高		77,799	
普通預金	みずほ銀行神谷町支店	2,663,886	
普通預金	みずほ銀行神谷町支店(賛助会員)	2	
普通預金	みずほ銀行神谷町支店(振興くじ)	5	
普通預金	みずほ銀行神谷町支店(JKA)	1,856,544	
普通預金	みずほ銀行神谷町支店(ｽｽﾞ 振興)	708,823	
郵便振替	東京貯金事務センター(審判)	17,690,674	
郵便振替	東京貯金事務センター(積立金)	10,729	
郵便振替	東京貯金事務センター(ｽｽﾞ -ﾀｰ)	68,390	
郵便振替	東京貯金事務センター(祝賀会)	70,417	
郵便振替	東京貯金事務センター	3,230,995	
商品	賞状、テキスト、代表応援グッズ他	2,503,347	
立替金	ヤマトコレクト	32,700	
未収入金	スポーツ振興助成金他	7,260,098	
流動資産合計			36,174,409
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
工具器具備品	大会用コート	1	
ソフトウェア	システム開発費	442,500	
保証金	事務局	414,000	
その他固定資産合計		856,501	
固定資産合計			856,501
資産合計			37,030,910
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	事務局経費、春大会分他	3,351,605	
前受金	2019年度会費他	943,334	
預り金	源泉税他	88,710	
未払法人税等		70,000	
未払消費税		361,500	
流動負債合計			4,815,149
負債合計			4,815,149
正味財産			32,215,761

貸借対照表総括表

2019年 3月31日現在

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	一般会計	特別会計(大会)	特別会計(toto)	合 計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	26,378,264	0	0	26,378,264
商品	2,503,347	0	0	2,503,347
立替金	32,700	0	0	32,700
未収入金	1,828,098	2,499,000	2,933,000	7,260,098
流動資産合計	30,742,409	2,499,000	2,933,000	36,174,409
2. 固定資産				
(1) その他固定資産				
工具器具備品	0	1	0	1
ソフトウェア	442,500	0	0	442,500
保証金	414,000	0	0	414,000
その他固定資産合計	856,500	1	0	856,501
固定資産合計	856,500	1	0	856,501
資産合計	31,598,909	2,499,001	2,933,000	37,030,910
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	1,846,107	1,505,498	0	3,351,605
前受金	943,334	0	0	943,334
預り金	82,740	5,970	0	88,710
未払法人税等	70,000	0	0	70,000
未払消費税	361,500	0	0	361,500
元入金	△ 30,488,466	20,372,558	10,115,908	0
流動負債合計	△ 27,184,785	21,884,026	10,115,908	4,815,149
負債合計	△ 27,184,785	21,884,026	10,115,908	4,815,149
III 正味財産の部				
1. 一般正味財産	58,783,694	△ 19,385,025	△ 7,182,908	32,215,761
正味財産合計	58,783,694	△ 19,385,025	△ 7,182,908	32,215,761
負債及び正味財産合計	31,598,909	2,499,001	2,933,000	37,030,910

損益計算書（正味財産増減計算書）総括表

2018年 4月 1日から2019年 3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	一般会計	特別会計(大会)	特別会計(toto)	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益				
事業収益	3,702,050	7,766,818	7,255,210	18,724,078
登録料収益				
チーム登録料収益	4,296,000	0	0	4,296,000
受取会費				
協会員受取会費	30,867,000	0	0	30,867,000
役員等受取会費	730,000	0	0	730,000
加盟協会料収益				
加盟協会料収益	2,400,000	0	0	2,400,000
スポンサー料収益				
スポンサー料収益	5,068,000	1,836,000	66,666	6,970,666
販売収益				
販売収益	6,700,062	3,059,000	0	9,759,062
検定料収益				
公認球検定料収益	1,607,040	0	0	1,607,040
手数料収益				
手数料収益	948,121	164,875	0	1,112,996
受取補助金等				
受取助成金	100,000	5,675,000	2,933,000	8,708,000
雑収益				
雑収益	290,805	28,960	0	319,765
経常収益計	56,709,078	18,530,653	10,254,876	85,494,607
(2) 経常費用				
事業費				
謝金	586,076	149,542	0	735,618
旅費交通費	5,000,425	6,310,830	3,341,733	14,652,988
宿泊費	365,460	3,120,797	1,515,287	5,001,544
事業支援費	18,267,800	0	0	18,267,800
賃借リース料	56,100	1,140,358	735,460	1,931,918
制作費	2,363,562	3,577,573	21,600	5,962,735
用具費	98,462	673,975	2,058,628	2,831,065
通信運搬費	238,099	2,146,897	112,665	2,497,661
印刷製本費	1,545,094	760,280	0	2,305,374
事業消耗品費	1,460,484	1,705,647	321,244	3,487,375
事業雑費	277,967	303,671	2,533,685	3,115,323
管理費				
給与手当	7,854,422	0	0	7,854,422
通勤費	498,464	0	0	498,464
法定福利費	1,294,440	0	0	1,294,440
福利厚生費	75,660	0	0	75,660
賃借料	3,312,816	0	0	3,312,816
リース料	243,000	0	0	243,000
旅費交通費	798,744	0	0	798,744
通信費	487,895	0	0	487,895
運賃	906,269	0	0	906,269
発送業務委託費	46,440	0	0	46,440
消耗品費	325,023	0	0	325,023
顧問料	1,000,000	0	0	1,000,000
業務委託費	334,260	0	0	334,260
会議費	24,420	0	0	24,420
接待交際費	247,487	0	0	247,487
水道光熱費	315,949	0	0	315,949
諸会費	813,820	0	0	813,820
租税公課	828,950	0	0	828,950
支払助成金	100,000	0	0	100,000
減価償却費	19,750	0	0	19,750
雑費	348,034	0	0	348,034
経常費用計	50,135,372	19,889,570	10,640,302	80,665,244
当期経常増減額	6,573,706	△ 1,358,917	△ 385,426	4,829,363
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	6,573,706	△ 1,358,917	△ 385,426	4,829,363
税引前当期一般正味財産増減額	6,573,706	△ 1,358,917	△ 385,426	4,829,363
法人税、住民税及び事業税	70,000	0	0	70,000
当期一般正味財産増減額	6,503,706	△ 1,358,917	△ 385,426	4,759,363
一般正味財産期首残高	52,279,988	△ 18,026,108	△ 6,797,482	27,456,398
一般正味財産期末残高	58,783,694	△ 19,385,025	△ 7,182,908	32,215,761
II 正味財産期末残高	58,783,694	△ 19,385,025	△ 7,182,908	32,215,761

監査報告書

一般財団法人日本ドッジボール協会
評議員・理事 各位

2019年 6月14日
一般財団法人日本ドッジボール協会

監事 畑 敬 

私は、一般財団法人日本ドッジボール協会の、2018年度（自2018年4月1日至2019年3月31日）の会計並びに業務について監査を行い、次の通り報告します。

記

1 監査方法の概要

- ① 会計監査については、帳簿及び関係書類を調査し、担当役員及び事務職員に質問を行い、貸借対照表、損益計算書及び財産目録の計算書類の正確性を検討した。
- ② 業務調査については、必要書類を調査し、かつ担当役員及び事務職員に質問を行うなど必要と思われる監査手続きを実施して、会計遂行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- ① 上記会計の計算書類は、会計帳簿の金額と一致し、一般財団法人日本ドッジボール協会の2019年3月31日現在の財産状態及び同日を以って終了する事業年度の損益を正しく示しているものと認める。
- ② 事業及び会計報告書の内容は、妥当なものと認める。
- ③ 理事の会計執行は公正に運営されており、法令及び一般財団法人日本ドッジボール協会定款に照らし、特に指摘すべき事項はない。

以上

監査報告書

一般財団法人日本ドッジボール協会
評議員・理事 各位

2019年 6月 14日
一般財団法人日本ドッジボール協会

監事 山田 上 

私は、一般財団法人日本ドッジボール協会の、2018年度（自2018年4月1日至2019年3月31日）の会計並びに業務について監査を行い、次の通り報告します。

記

1 監査方法の概要

- ① 会計監査については、帳簿及び関係書類を調査し、担当役員及び事務職員に質問を行い、貸借対照表、損益計算書及び財産目録の計算書類の正確性を検討した。
- ② 業務調査については、必要書類を調査し、かつ担当役員及び事務職員に質問を行うなど必要と思われる監査手続きを実施して、会計遂行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- ① 上記会計の計算書類は、会計帳簿の金額と一致し、一般財団法人日本ドッジボール協会の2019年3月31日現在の財産状態及び同日を以って終了する事業年度の損益を正しく示しているものと認める。
- ② 事業及び会計報告書の内容は、妥当なものと認める。
- ③ 理事の会計執行は公正に運営されており、法令及び一般財団法人日本ドッジボール協会定款に照らし、特に指摘すべき事項はない。

以上

